

2022年3月13日 午前礼拝

「教会会議」 説教:大木英雄牧師

【引用聖句】使徒 15:1~11

- 1 さて、ある人々がユダヤから下って来て、兄弟たちに、「モーセの慣習に従って割礼を受けなければ、あなたがたは救われない」と教えていた。
- 2 そしてパウロやバルナバと彼らとの間に激しい対立と論争が生じたので、パウロとバルナバと、その仲間のうちの幾人かが、この問題について使徒たちや長老たちと話し合うために、エルサレムに上ることになった。
- 3 彼らは教会の人々に見送られ、フェニキヤとサマリヤを通る道々で、異邦人の改宗のことを詳しく話したので、すべての兄弟たちに大きな喜びをもたらした。
- 4 エルサレムに着くと、彼らは教会と使徒たちと長老たちに迎えられ、神が彼らとともにいて行われたことを、みなに報告した。
- 5 しかし、パリサイ派の者で信者になった人々が立ち上がり、「異邦人にも割礼を受けさせ、また、モーセの律法を守ることを命じるべきである」と言った。
- 6 そこで使徒たちと長老たちは、この問題を検討するために集まった。
- 7 激しい論争があって後、ペテロが立ち上がって言った。「兄弟たち。ご存じのとおり、神は初めのころ、あなたがたの間で事をお決めになり、異邦人が私の口から福音のことばを聞いて信じるようにされたのです。
- 8 そして、人の心の中を知っておられる神は、私たちに与えられたと同じように異邦人にも聖霊を与えて、彼らのためにあかしをし、
- 9 私たちと彼らとに何の差別もつけず、彼らの心を信仰によってきよめてくださったのです。
- 10 それなのに、なぜ、今あなたがたは、私たちの父祖たちも私たちも負いきれなかつたくびきを、あの弟子たちの首に掛けて、神を試みようとするのです。
- 11 私たちが主イエスの恵みによって救われたことを私たちは信じますが、あの人たちもそうなのです。」

【説教要約】

(A)割礼の問題

使徒 15:1, さて、ある人々がユダヤから下って来て、兄弟たちに、「モーセの慣習に従って割礼を受けなければ、あなたがたは救われない。」と教えていた。

割礼の問題は

ガラテヤ 2:11, ところが、ケパがアンテオケに来たとき、彼に非難すべきことがあったので、私は面と向かって抗議しました。

ガラテヤ 2:12, なぜなら、彼は、ある人々がヤコブのところから来る前は異邦人といっしょに食事をしていたのに、その人々が来ると、割礼派の人々を恐れて、だんだんと異邦人から身を引き、離れて行ったからです。

ガラテヤ 2:13, そして、ほかのユダヤ人たちも、彼といっしょに本心を偽った行動をとり、バルナバまでもその偽りの行動に引き込まれてしまいました。

ガラテヤ 2:14, しかし、彼らが福音の真理についてまっすぐに歩んでいないのを見て、私はみなの前でケパにこう言いました。「あなたは、自分がユダヤ人でありながらユダヤ人のようには生活せず、異邦人のように生活していたのに、どうして異邦人に対して、ユダヤ人の生活を強いるのですか。」

ペテロのような人でも割礼派の人達を恐れるほど割礼に対する信仰は根深いものです。割礼を受けなければ、あなたがたは救われない。割礼を救いの条件にしたことが間違いなのです。

創世記 17:10, 次のことが、わたしとあなたがたと、またあなたの後のあなたの子孫との間で、あなたがたが守るべきわたしの契約である。あなたがたの中のすべての男子は割礼を受けなさい。

創世記 17:11, あなたがたは、あなたがたの包皮の肉を切り捨てなさい。それが、わたしとあなたがたの間の契約のしるしである。

創世記 17:12, あなたがたの中の男子はみな、代々にわたり、生まれて八日目に、割礼を受けなければならない。家で生まれたしもべも、外国人から金で買い取られたあなたの子孫ではない者も。

を読みますと割礼が救いの条件と誤解されても、仕方がないように思われます。しかし救いの条件は

創世記 15:6, 彼は主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

これは

創世記 15:5, そして、彼を外に連れ出して仰せられた。「さあ、天を見上げなさい。星を数えることができるなら、それを数えなさい。」さらに仰せられた。「あなたの子孫はこのようになる。」

アブラハムは神様の御言葉を信じたのです。これが救いの条件なのです。私たちはイエスキリストの十字架と復活を信じたなら救われるのです。しかし信じるということは「50パーセント信じたらよいのか」、「自分の信仰で果たして天国へ行けるのか」、と真面目な人は考えますが、しかし信じたことを信仰告白するためにバプテスマを受ければ安心です。

そのように神様を信じた信仰告白として、割礼を受けるのです。割礼を受ければ自分は神様を信じているのだと安心するのです。これがアブラハムから 2000 年も続くと、割礼を受ければ神様を信じていると錯覚するようになったのです。割礼は目に見えますので偶像になりやすいのです。偶像は信じやすいのです。

使徒 15:2, そしてパウロやバルナバと彼らとの間に激しい対立と論争が生じたので、パウロとバルナバと、その仲間のうちの幾人かが、この問題について使徒たちや長老たちと話し合うために、エルサレムに上ることになった。

これが教会会議です。

使徒 15:3, 彼らは教会の人々に見送られ、フェニキヤとサマリヤを通る道々で、異邦人の改宗のことを詳しく話したので、すべての兄弟たちに大きな喜びをもたらした。

異邦人が救われたことを異邦人は喜んだのです。ユダヤ人たちは「キリストの十字架と復活を信じただけでは救われない」、「割礼を受けなければ救われない」と教えたので、異邦人たちは「キリストの十字架と復活を信じただけでは、救われないのではないか」と不安になったのです。しかしパウロとバルナバによって「キリストの十字架と復活を信じるだけで十分だ」と教えられて喜んだのです。

(B)パリサイ派の主張

使徒 15:5, しかし、パリサイ派の者で信者になった人々が立ち上がり、「異邦人にも割礼を受けさせ、また、モーセの律法を守ることを命じるべきである。」と言った。

パリサイ派の人たちは異邦人にも割礼を受けさせ、モーセの律法を守るように命じるべきだということです。

(C)ペテロの弁明

使徒 15:7, 激しい論争があって後、ペテロが立ち上がって言った。「兄弟たち。ご存じのとおり、神は初めのころ、あなたがたの間で事をお決めになり、異邦人が私の口から福音のことばを聞いて信じるようにされたのです。

使徒 15:8, そして、人の心の中を知っておられる神は、私たちに与えられたと同じように異邦人にも聖霊を与えて、彼らのためにあかしをし、

使徒 15:9, 私たちと彼らとに何の差別もつけず、彼らの心を信仰によってきよめてくださったのです。

使徒 15:10, それなのに、なぜ、今あなたがたは、私たちの先祖も私たちも負いきれなかったくびきを、あの弟子たちの首に掛けて、神を試みようとするのです。

ペテロは異邦人コルネリオに伝道したとき、ペンテコステの日に聖霊が下ったように、コルネリオにも聖霊が下ったことを証しました。それからモーセの律法は私たちユダヤ人でも守れなかった律法を異邦人に負わせるのですか、律法は私達に罪があることを示すためのものです。私たちが罪から救われるためにはキリストの十字架と復活を信じるだけで十分です。

(D)バルナバとパウロの証

使徒 15:12, すると、全会衆は沈黙してしまった。そして、バルナバとパウロが、彼らを通して神が異邦人の間で行なわれたしるしと不思議なわざについて話すのに、耳を傾けた。私たちが救われたのは律法を守ったからではなく、キリストが私たちの罪の身代わりとして十字架で死なれ、死人の中から三日目に蘇られたことを信じたからです。

エペソ 2:8, あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。

エペソ 2:9, 行ないによるものではありません。だれも誇ることのないためです。

使徒 15:12, すると、全会衆は沈黙してしまった。そして、バルナバとパウロが、彼らを通して神が異邦人の間で行なわれたしるしと不思議なわざについて話すのに、耳を傾けた。

バルナバとパウロは第1次宣教旅行で

アンテオケ→サラミス→パポス→アタリヤ→(アンテオケ)→イコニオム→ルステラ→デルベ→アンテオケ

異邦人がキリストの十字架と復活を信じて救われたことを証した。

使徒 15:13, ふたりが話し終わると、ヤコブがこう言った。「兄弟たち。私の言うことを聞いてください。

使徒 15:14, 神が初めに、どのように異邦人を顧みて、その中から御名をもって呼ばれる民をお召しになったかは、シメオンが説明したとおりです。

使徒 15:15, 預言者たちのことばもこれと一致しており、それにはこう書いてあります。

(E)ヤコブが御言葉によって締めくくる

使徒 15:16, 『この後、わたしは帰って来て、倒れたダビデの幕屋を建て直す。すなわち、廃墟と化した幕屋を建て直し、それを元どおりにする。

使徒 15:17, それは、残った人々、すなわち、わたしの名で呼ばれる異邦人がみな、主を求めようになるためである。

使徒 15:18, 大昔からこれらのことを知らせておられる主が、こう言われる。』

わたし=イエス・キリスト

わたしは帰ってきて、キリストの再臨の事

ペテロは

アモス書 9:11, その日、わたしはダビデの倒れている仮庵を起し、その破れを繕い、その廃墟を復興し、昔の日のようにこれを建て直す。

イエス・キリストが倒れたダビデの幕屋を建て直す。

サムエル記第二 7:12, あなたの日数が満ち、あなたがあなたの先祖たちとともに眠るとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子を、あなたのあとに起し、彼の王国を確立させる。

サムエル記第二 7:13, 彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしはその王国の王座をとこしえまでも堅く立てる。

ダビデの家系からイエス・キリストが生まれた。ヤコブはアモスの預言が今成就しつつあると述べている。ヤコブの論点は、神様は異邦人を顧みて異邦人の中から御名をもって呼ばれる民をお召しになる。今起きていることがアモスの預言の成就だと言っているのです。異邦人が大勢救われ、キリストが再臨される前にユダヤ人もみな救われるのです。

ローマ 11:25, 兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知っていただきたい。それは、あなたがたが自分で自分を賢いと思うことがないようにするためです。その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなになったのは異邦人の完成のなる時までであり、

ローマ 11:26, こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。こう書かれているとおりです。「救う者がシオンから出て、ヤコブから不敬虔を取り払う。

①この恵みの時代に異邦人の中から御名をもって呼ばれる民が召し出される。

②キリストが再臨される直前にユダヤ人はみな救われる。

ヤコブはアモス書の預言を知っていたのです。ユダヤ人は旧約聖書を信じているのでアモス書の御言葉を信じたのです。私たちは毎日自我に従うか御言葉に従うかの戦いを行います。自我に従えば必ず失敗します。御言葉に従えば無理だと思えることも神様が働いてくださいます。

(F)結論

使徒 15:20, ただ、偶像に供えて汚れた物と不品行と絞め殺した物と血とを避けるように書き送るべきだと思います。

これは異邦人クリスチャンとユダヤ人クリスチャンの溝を埋めることです。

①偶像に供えた物

これは偶像に供えた、汚れた食物のことです。異邦人クリスチャンが偶像に供えたものを食べ続けたら、ユダヤ人クリスチャンは異邦人クリスチャンが偶像礼拝を続けていると疑うようになります。ですから疑いを取り除くために止めさせたのです。

②不品行

これは異邦人の主要な罪であった。ヤコブがこの問題に触れたことは、特に重要なことであった。

③絞め殺したもの

これは洪水の後、神様がノアと結ばれた契約です。

創世記 9:4, しかし、肉は、そのいのちである血のあるままで食べてはならない。

④「血」

創世記 9:4, しかし、肉は、そのいのちである血のあるままで食べてはならない。

異邦人の救いに割礼が不必要であることがはっきりと決議されました。アンテオケの集會に正式な決議文を送る必要がありました。エルサレムの使徒たち、また全教会はパウロやバルナバと一緒にバルサバと呼ばれるユダとシラスを選んだ。

使徒 15:28, 聖霊と私たちは、次のぜひ必要な事のほかに、あなたがたにその上、どんな重荷も負わせないことを決めました。

弟子達は決議文を書くにも聖霊により頼んだことが書かれています。

使徒 15:29, すなわち、偶像に供えた物と、血と、絞め殺した物と、不品行とを避けることです。これらのことを注意深く避けていれば、それで結構です。以上。」

一行の中にバルナバとパウロが入っていた。アンテオケについて人々を集めて手紙を読んだ。人々は励まされて喜んだ。